

伝えるための第一歩

聖園女学院中学校

一年 駒形 萌衣

「水がおいしい」

私は、家族と静岡県三島市に天気の良い日出かけた。三嶋大社の近くを歩いていると富士山の湧水が出ている所を見つけ、私は気になってその水を飲んでみた。水はとてもおいしく透き通っていて、日本でしか味わえない味だと思った。

家に帰って水について調べてみると、三島溶岩流と呼ばれる水で、その水を良くとおす地層がつくられたそう。その地層のおかげで私たちにおいしい水が届くことを調べてわかった。私が、飲んだ場所以外にもたくさん富士山の湧水が出ている所があり、三島駅周辺の三島湧水群や、柿田川などから湧き出ている。この時私は、一つ疑問に思ったことがある。それは、富士山の水はなぜおいしいのかということだ。別に、雨水などをろ過すればいいじゃないかと思った。しかし、富士山の水は、

一味違う。何が違うのかと言うと、富士山は標高の高い場所
で人為的な汚染がなく、浄水する必要がほとんどない。そし
て高い所から長い時間をかけてろ過されながら、湧出してく
ることで火山岩からミネラル成分がほどよく溶け出し、おい
しい水ができるので、富士山の水はおいしいと言われている。

水がおいしいと食べ物もおいしくなる。三島のうなぎは、浜
名湖などの産地から生きたまま運ばれて、一週間ほどえさを
与えず富士山の湧水にさらさせこの一週間の間に、お腹に残
ったえさなどを吐き出させて、余分な脂肪を落とし臭みがな
くなるようにしているそう。私は、富士山の湧水で育てた
果物もおいしそうだと思った。

次に私が調べたのは、この湧水を大切にしている人についてだ。
調べてみて、湧水は市で大切にしていることがわかった。今、実
際に活動しているのは市内の中心部、三河川を清掃する活動
だ。作業内容は、雑草、空き缶、茶わんの欠片、汚泥、その他
のごみの除去をする活動だ。私はみんなでがんばって富士山の
湧水をきれいに保っていることがわかった。きれいに保つことで、
まだ湧水をあまり知らない人や、外国人などにも湧水の良さ
について知ってくれたり、味が気になって三島を訪れてくれた
りしてくれると、私は思った。

その日から私は、水についてもっと考えるようになった。身近に感じていると思った水でも、水の世界は海のようにどこまでも深く続いていて、わからないことばかりだ。

これから自分には、なにができるかを私なりに二つ考えてみた。一つ目は、海や川などをきれいに保つ。保つことで、生き物がみんな幸せになれるからだ。二つ目は、周りに水の大切さを伝えていくことだ。話したり絵を描いたり色々な伝え方がある。この二つを今後大切にしてがんばっていききたい。そして、世界中が水にこまらないようにし、世界が平和と幸せでいっぱいになるように少しずつでもいいから水の大切さを伝えていきたいと、私は思う。この作文も、水の大切さを世界に伝えていく第一歩だと思った。